

「大阪湾海底活断層探査」クラウドファンディングで目標額達成、探査プロジェクトが始動

神戸大学海洋底探査センター長

教授 巽 好幸

海洋底探査センターでは、神戸大学の練習船「深江丸」を用いて大阪湾の海底地形と地下構造を探査し、直下型地震や津波を引き起こす活断層の存在とその活動履歴を明らかにするプロジェクトを開始します。本プロジェクトについては、活動資金の調達に加えて、活断層の密集域に暮らすことを少しでも多くの人々に再認識していただくために、クラウドファンディングに挑戦しました。その結果、150名以上のサポーターから目標の200万円を超える支援をいただくことができました。早速探査の準備に入り、9月には第一回目の探査を実施する予定です。

地震大国日本では、いつでもどこで地震が起きてもおかしくありません。2018年6月18日には最大震度6弱の大阪府北部地震が発生しました。これまで知られていなかった活断層が動いたのです。1995年に阪神淡路大震災を経験していたにもかかわらず、多くの人々は近畿地方が日本列島でも最高レベルの活断層密集域であることを忘れていました。そしてもうすでに、大阪府北部地震のことすらも忘れていたかもしれません。

大阪湾は、南海トラフから沈み込むフィリピン海プレートの影響を受けて、今でもどんどんと沈降を続けていています。したがって海底には沈降に伴う活断層が存在しているはずですが、まさにこの海域は直下型地震と津波の「巣」になっているに違いありません。

一方で、海底活断層の調査には船が必要なこともあり、その調査が進んでいません。神戸大学は練習船「深江丸」を所有し、最新の海底探査装置を搭載しています。この機能を最大限に活用して、大阪湾に潜む海底活断層の実態を明らかにすることは、神戸大学の使命の1つだと考えています。

地震を起こす海底活断層を、大阪湾全域で探査する！

<https://academist-cf.com/projects/111?lang=ja>

【問合せ先】

神戸大学海洋底探査センター長 巽 好幸

連絡先（研究室）078-431-4617

E-Mail: office@k-obec.kobe-u.ac.jp

tatsumi@diamond.kobe-u.ac.jp